



留学カウンセリングで本当によく聞かれる

本音の 悩みやギモン

TOP 10

「オンライン英会話もAIもあるのに、語学学校って本当に必要？」

「40代から留学は厳しい？」

「ワーホリで仕事が見つからなかったら？」



留学やワーキングホリデーを検討中の方なら、きっと誰もが一度は頭をよぎる悩みや疑問。でも、いざカウンセリングの場になると、なかなか言い出せないことも多いのではないのでしょうか。

LINEを登録してくださった皆様への感謝の気持ちをこめて、ホームページのQ&Aを探しても見つからない、けれど実はみんなが思っている本音の悩みばかりを集めてみました。

20年以上留学生と向き合ってきたサクセスカナダだからこそ蓄積できた『本当によく聞かれる質問』、気になる質問はありますか？

もっと聞きたい、相談してみたいことがあれば、お気軽にLINEで話しかけてくださいね。



Q1. ワーホリで語学学校って、正直必要ですか？独学やアプリでも英語は伸びるのに、お金を払って行く意味、本当にありますか？

正直にお答えすると、「絶対に必要」ではありません。

独学やアプリだけで力をつける方もいます。ただ、学校に通う一番の価値は、英語力そのものより「環境」にあります。1対1のオンラインレッスンは、先生と二人だけの空間なので、そこで起きる会話はある程度想定範囲に収まります。

一方、学校に毎日通うと、友達とのその場のやり取りやクラスでのハプニングなど、台本のない出来事が次々に起きます。とっさに一言が出てこず悔しい思いをすることもあります。その経験を繰り返す中で、自分で言葉を探して口に出す力が鍛えられます。これは、生活の中で使える英語に直結する部分です。

一人で継続するのが得意な方は学校なしでも進められますし、こうした環境に身を置きたい方は学校を活用する方が現実的です。

サクセスカナダでは、こうしたお悩みをご相談いただいたときには、ご自身がどちらのタイプか、正直に話し合うところから始めています。

Q2. 留学前に、日本である程度の英語力をつけてから行った方がいいですか？

完璧に仕上げてから行く必要はありません。むしろ、「ある程度力をつけてから」と思っていると、いつまで経っても留学できません。自分の英語力についての成長度は、不思議なくらい実感がありません。基準を上げれば上げるほど、その基準はいつまでも満たされないものです。

それに、日本で勉強して身につく英語と、現地で実際に使われている生きた英語は、正直かなり別物です。教科書通りの言い回しが、現地では全く違う言い方をされていることも珍しくありません。日本での勉強は、現地に行った時に「あ、これ知ってる」という手ごかりを増やす程度のものだと思っておく方が、気持ちが楽になります。渡航前は「挨拶や自己紹介ができる」程度の基礎があれば十分で、あとは現地で「思ったより通じなかった」「うまく言えなかった」という経験を重ねながら伸ばしていくものです。

心配な方は最低限の基礎文法とよく使われそうな単語の勉強をしておく心安心ですが、ゼロから完璧を目指す必要はなく、「現地で恥をかきながら伸ばす」くらいの気持ちで大丈夫です。

Q3. 30過ぎ、自分の年齢で今から留学するのは遅すぎますか？英語が若い人のように身につくづらいのでは？

実際には、社会人経験を経てから留学される方、40代以降で挑戦される方も多くいらっしゃいます。

年齢が上がるほど吸収に時間がかかるという面はあるかもしれませんが、社会人経験がある分、学習の目的意識がはっきりしていることが多く、その点は若い方より有利に働くこともあります。また、「英語を学ぶ」のではなく「英語で学ぶ」ことができるのも、ある程度経験を重ねた大人だからこそできることです。

そして年齢よりも、目的が明確かどうかの方が満足度に影響しやすい印象があります。ぜひ、留学の目的が何なのかを今一度考えてみてください。

Q4. 一度も海外旅行をしたことがないのですが、いきなり留学は無茶ですか。

無茶ではありません。初めての海外が留学、という方は珍しくなく、サクセスカナダにもそういった方がたくさん相談にいらっしゃいます。

ただ、旅行と違い、留学は数週間～数ヶ月、生活の場そのものを移すことになります。パスポートの取得から始まり、入国審査の流れ、現地での初日の過ごし方など、「海外旅行の経験があればやるだろうこと」を、一つひとつ確認しながら進める必要があります。

逆に言えば、そこを丁寧にサポートしてもらえれば、経験の有無はハンデにはなりません。

Q5. 留学やワーホリが、将来のキャリアの空白期間として不利に働かないか心配です。それに、留学しても結局何も変わらなかったらどうしようとも思っています。

どちらも本当によく聞く不安で、実はつながっています。

留学した期間や、環境が変わったこと自体が、自動的に何かを変えてくれるわけではありません。変化が起きるのは、現地での日々の中で「これまでと違う判断」や「これまで避けていたこと」に向き合った人です。そしてキャリアの評価でも、「なんとなく行った1年」なのか「何を目的に行って、何を得たか」を自分の言葉で説明できる1年なのかで、受け取られ方は大きく変わります。

留学前に、何を変えたいのか、何を得たいのかを少し言葉にしておく、現地での過ごし方も、帰国後の語り方も変わってきます。

Q6. 海外は危険だからと親に反対されていて、留学を決められません

とても多い相談です。

反対の理由は「お金」「治安や安全面」「将来への不安」であることがほとんどです。費用の仕組みや現地でのサポート体制を、ご家族にも分かりやすくご説明できる資料のご用意や、カウンセリングでのご説明も可能です。

一人で抱え込まず、まずはご相談ください。

Q7. どれくらいのお金を持っていけばいいですか？それに、行ってみたら想定より費用がかかって途中で足りなくなる、なんてことはありますか？

必要な金額は、期間・都市・生活スタイル（ホームステイか自炊かなど）によって変わるため、一律の金額はお伝えしにくいのですが、渡航前のカウンセリングで、期間や生活スタイルに合わせた現実的な目安を一緒に確認しています。

また、為替の変動や、想定していなかった出費（急な通院、住居の変更など）で、予算が計画通りにいかないことも起こり得ます。

だからこそ、サクセスカナダでは、渡航前に「最低限これくらいは余裕を持っておく」という現実的な資金計画を一緒に確認するようにしています。

Q8. ワーホリに行って、仕事が見つからないということはあるんですか？

あり得ます。特に英語力に自信がない状態で、日本語が使えないローカルな環境での職種のみを探そうとすると、時間がかかることがあります。

一方で、最初は日本食レストランなど、日本人であることを強みに活かせる環境から始めて、徐々に英語を使う環境に移っていく方も多くいます。例えば、カナダでもカルガリーは日本人が少ない町なので、日本食レストランで働いてもお客さんのほとんどは日本人ではありませんし、一緒に働くスタッフも日本人でないことの方が多いです。「日本食レストラン＝日本語だけの環境」ではなく、実際には英語を使う場面がしっかりある職場です。

まとめると、「必ず見つかる」とは言い切れませんが、探し方や進め方のコツを知る事で状況は変えられます。サクセスカナダでは、カルガリーでの就職活動に関するアドバイスや、履歴書の添削などのサービスも別途行っていますので、ご要望があればご案内いたします。

Q9. 語学留学の場合、どれくらいの期間行けばある程度英語が話せるようになりますか？

正直にお伝えすると、期間だけでは決まりません。本人の取り組み方、渡航前の英語レベル、現地での過ごし方によって差が出ます。

傾向として、短期間だと基礎固めで終わってしまい、「英語脳が出来た」「話せるようになった」という実感を得る前に帰国してしまうケースが多く見られます。

ご自身の目的や現在のレベルに合わせた、現実的な期間の目安はカウンセリングで具体的にお話しできます。

Q10. 自分でできるなら、自分で頑張って手続きした方がやはり安く済みますか？

エージェントによって仕組みが違うので、一概には言えません。選ぶエージェントによって高くなる場合もあれば、安くなる場合もあります。

例えばサクセスカナダの場合は、学生の皆さんから手数料をいただいております。語学学校によってはエージェント経由の方が割引価格が適用されることもあります。「自分でやれば安くなる」という思い込みだけで判断せず、まずは学費の内訳を確認してみることをおすすめします。

また、費用だけでなく、自分で全て手続きすると、情報収集や申込みの手間、渡航後にトラブルが起きたときの対応まで、すべて一人で抱えることになります。

費用面と、手間・いざという時の安心感、その両方を含めて、自分でやるかエージェントを使うかを考えてみてください。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

SNSやネット、AIで、
留学についてのあらゆることが
調べられる時代になりました。
でも留学には、誰にでも当てはまる
ひとつの正解があるわけではありません。

だからこそ私たちは、これまで数多くの留学生を
現地で見届けながら積み重ねた経験をもとに、
「情報を、あなたの選択に変える」
お手伝いをしたいと思っています。

この冊子が、「自分はどうしたいんだろう」と
考えるきっかけになれば嬉しいです。

サクセスカナダ留学センター（Success Canada）

